愛媛大学俳句・書文化研究センターシンポジウム

「江戸後期サムライの文芸活動 ―伊予小松藩を中心に―」

日 時 令和8年11月29日（日）
13時30分～16時30分（13時開場）
※参加申込締切 令和8年11月25日（水）
※申込方法は裏面をご確認ください。

参加費無料
オンライン
併用開催

場 所 愛媛大学南加記念ホール
（松山市文京町3 城北キャンパス内）

会場定員 150人（先着順）

主催 愛媛大学俳句・書文化研究センター、愛媛近世文学研究会
後援 愛媛県、松山市、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会

プログラム

【開 会】13時30分～13時35分
挨拶 杉森 正敏（愛媛大学地域協働推進機構長）

【報告１】13時35分～13時55分
「森田家資料の概要と関連人物」
新井 恵（愛媛大学俳句・書文化研究センター客員研究員）

【報告２】13時55分～14時15分
「小松藩士森田義孚の文事」
神楽岡 幼子（愛媛大学俳句・書文化研究センター／法文学部教授）

～休憩～

【報告３】14時25分～14時45分
「森田家資料の珍品 炙り出しの短冊」
小林 孔（大阪総合保育大学教授）

【報告４】14時45分～15時05分
「『和歌塵埃集』の編集と重枝の評」
松井 忍（松山東雲女子大学名誉教授／愛媛大学俳句・書文化研究センター客員研究員）

～休憩～

【意見交換】15時15分～16時20分 登壇者全員
意見交換司会：小助川 元太（愛媛大学俳句・書文化研究センター長）

【閉 会】16時20分～16時30分
挨拶 小助川 元太（愛媛大学俳句・書文化研究センター長）

総合司会：清田 朗裕（愛媛大学俳句・書文化研究センター／教育学部准教授）

背景写真:石岡神社（西条市）

愛媛大学 EHIME UNIVERSITY

開催趣旨

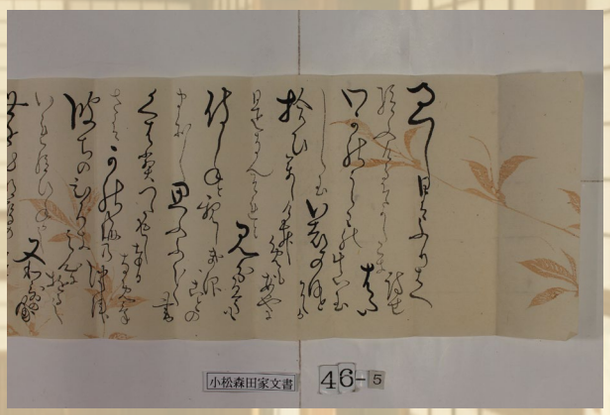
近世伊予で俳諧が広く親しまれていたことはよく指摘されることですが、和歌については注目されることはあまりありませんでした。このたび、江戸後期小松藩士で大坂勘定方をつとめた森田義孚（よしのぶ）に関するまとまった資料が、小松温芳図書館に寄贈される運びとなり、それを機に愛媛近世文学研究会において資料の翻刻、分析が進められ『小松藩勘定方森田家資料　翻刻と研究』が出版されました。ここには、藩士たちが役目の傍ら和歌を中心として様々な文芸に親しんだ姿が写されています。

本シンポジウムでは、江戸時代の藩士たちの日常の一端を紹介し、伊予で盛んに行われた和歌の流れに注目したいと思います。明治になって子規は近代俳句を生み出すとともに桂園派の和歌を批判し和歌革新にも着手します。その背景にあった近世の文芸事情を見ていきたいと思います。

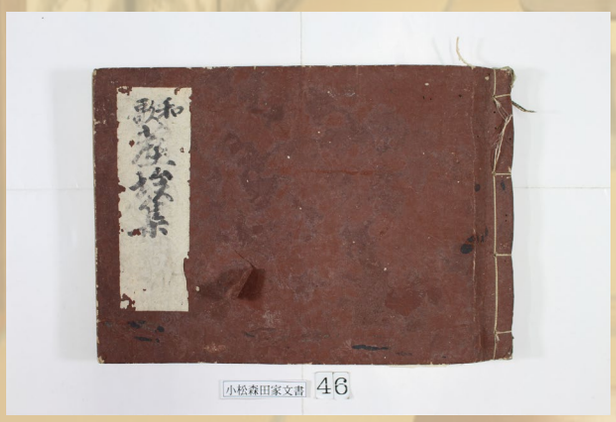
愛媛大学俳句・書文化研究センター　センター長　小助川　元太



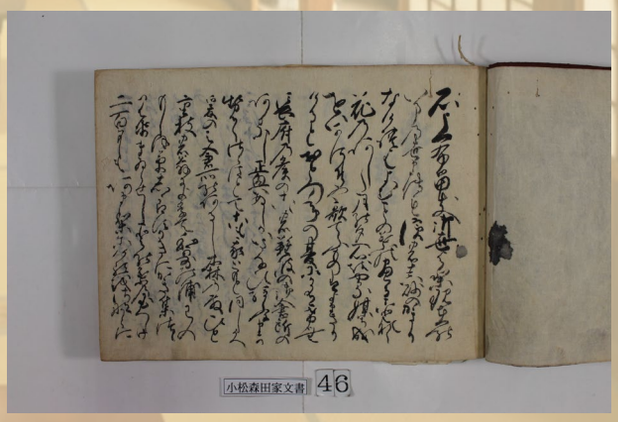
森田家資料全体（箱入り）



森田家資料・書簡



森田家資料・和歌塵埃集表紙



森田家資料・和歌塵埃集

▼参加申込

以下の参加申し込みフォーム、
もしくは右記の二次元コードからお申し込みください。
▼参加申し込みフォーム
https://forms.office.com/r/FxWvOPLUQX

■お問い合わせ　愛媛大学地域協働支援部地域協働課
メール：bunkeicj@stu.ehime-u.ac.jp
電話：089-927-8145
※月～金（祝日を除く）9:00～17:00

＊いただいた個人情報は、本シンポジウムに関する連絡のみに使用させていただきます。
＊大学構内には駐車スペースはございません。
近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。
＊オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。
（※Wi-Fi環境を推奨）

＊オンライン参加用URLは、登録いただいたメールアドレスに前日までにお知らせします。



会場周辺地図